

特定施設水道連結型スプリンクラー設備用

停滞水防止継手



あらゆる施工条件(5つのパターン)に対応！
業界最小の圧力損失水頭値！

スプリンクラーヘッド取付時の共回り防止！

1 木ねじ3ヶ所による取付

下地材等にビス(市販品)3ヶ所固定します。

2 巻き出しバンドによる取付

別売品の巻き出しバンド(GDMB-1)を16mm角バー(市販品)に接続し、継手を差し込み固定します。

3 吊金具による取付

継手を別売品の吊金具セット(GDTK-1)又は、吊金具用ステー(GDTK-2)にビス(市販品)3ヶ所固定し、高さ調節をして固定します。
※市販品

4 配管側支持による取付

※銅管・塩ビ管施工に限定される方法です。
銅管又は塩ビ管に吊金具(市販品)を取り付け、天井に固定します。

5 サドルバンドによる取付

下地材等に厚サドルバンド(市販品)とビス(市販品)で固定します。

共回り防止！

平面部
本体裏面が平面になっていますので、下地材等に平面部をしっかりと当てる事により、共回りが防止できます。

施工の種類	施工可能配管	
	銅管・塩ビ管	樹脂管
①木ねじ3ヶ所による取付	○	○
②巻き出しバンドによる取付	○	○
③吊金具による取付	○	○
④配管側支持による取付	○	×
⑤サドルバンドによる取付	○	○

損失水頭一覧 (m)				
流量 (L/min)	Rc3/4・ファスナー仕様		Rc1(1インチ)仕様	
	直流	分流	直流	分流
30	0.01	0.23	0.01	0.20
40	0.01	0.46	0.01	0.42
50	0.02	0.70	0.02	0.73
60	0.02	0.99	0.02	1.11

第三者(日本水道協会) 認証登録番号	G-82
材質	CAC406 NPB処理
主管の流れ方向	両側可能
耐圧試験圧力	1.75MPa(静水圧)

スプリンクラー設備の設置基準の強化とKVK停滞水防止継手の位置付け

消防法の改正により延べ床面積275㎡～1,000㎡未満の小規模社会福祉施設に
スプリンクラー設備の設置が義務付けられました。

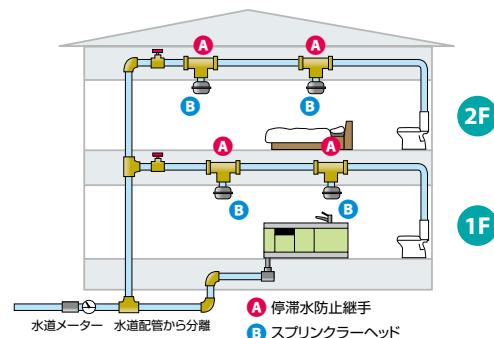
平成19年6月の消防法の改正により、火災発生時に自力で避難することが著しく困難な方が入所される小規模社会福祉施設においてスプリンクラー設備などの設置が義務付けられました。(設備などの状況によって設置が免除される場合もあります。)

延べ床面積1,000㎡未満の施設に設置するスプリンクラー設備については技術上の基準が緩和され「特定施設水道連結型スプリンクラー設備」による対応が可能になりました。

設置対象となる主な小規模社会福祉施設

- 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム(主として要介護状態にある者を入居させるものに限る)、介護老人保健施設
- 救護施設
- 乳児院
- 知的障がい児施設、盲ろうあ児施設(通所施設を除く)、肢体不自由児施設(通所施設を除く)、重症心身障がい児施設、障がい者支援施設(主として障がいの程度が重い者を入所させるものに限る)
- 老人短期入所事業又は認知症対応型老人共同生活援助事業(いわゆる認知症高齢者グループホーム)を行う施設
- 短期入所又は共同生活介護(いわゆる障がい者ケアホーム)を行う施設(重度障がい者施設に限る)

特定施設水道連結型スプリンクラー設備 設置例



特定施設水道連結型スプリンクラー設備による対応が可能になりました。(275㎡～1,000㎡未満)

特長

- 水道水が水源で付帯設備が少なく比較的安価で設置できる設備です。
- 火災時に自動散水することで避難時間の確保ができます

水道連結型は停滞水防止継手が必要になります

あらゆる施工条件(5つのパターン)に対応できるKVKの停滞水防止継手なら簡単・確実です。